

留学だより No.1



こんにちは。次世代リーダー育成道場でカナダのオンタリオ州に留学している森田です。行事週間お疲れさまでした。早いものでカナダに来てから1か月が経ちました。

～出発～

出発までお見送りに来てくれた人たちとゲームをしたのが楽しかったです。ありがとうございました。10か月という事の重大さに気づいていなかったのか涙は全く出ず、カラッカラでした。13時間ほどのフライトを経てトロントに到着後2日間事前研修を受け、その後バスで5時間揺られてホストファミリー宅に到着しました。ここにきてようやく留学するんだなと実感がわきました。



左) 機内食 chicken を頼んだのに beef がきました、幸先不安です
右) 事前研修が行われたトロントのCNタワー

～ホストファミリー～

ホストマザー、二人のホストシスター、スイスからの留学生 Enya、ラブラドルの Harry と暮らしています。ホストマザーは今年から nurse になるために college に通っていて毎晩勉強しています。尊敬です。House seller として働いてとても忙しいですがいつもとてもおいしい料理を作ってくれます。できるだけお手伝いしたいです。Grade10 のシスターは15才とは思えない達観した価値観の持ち主でとても頼りになります。彼女と犬の散歩でおしゃべりするのがとても刺激的で楽しいです。ピアノがとても上手で、彼女のピアノを聞きながら読書をするのが好きです。Grade6 のシスターは The 末っ子、おちゃめでもとてもかわいいです。Big Back (たくさん食べる人を指す) な彼女が焼くチョコレートチップクッキーは絶品です。Enya はスタイル抜群で自立していて同い年とは思えませんでした。(彼女はつい最近誕生日を迎えて17歳になりました) ジブリ映画が好きでよく一緒に見えています。Harry は人が大好きです。ただ他の犬への感度が異常に高く、散歩で他の犬と遭遇するともものすごい勢いで走って吠えます。彼のリードを持つにはまだまだ修行が必要です。一緒に暮らしてはいませんが単身赴任しているファザーと26才のシスターもいてたまに帰ってきます。ファザーはBBQが好きなので、彼がいるときは食卓が異様に豪華です。ということで普段は女子5人、毎日女子会です。みんなでカードゲームやボード

ゲームをしたりお話ししたり、とても楽しいです。



ホストファミリーが中国出身なので日本と似た料理も多く、うれしいです。薬膳料理もあり右下の 8 beans soup はあんこと赤飯の中間のような料理です。8 beans のうちの一つに形が腎臓に似ているから kidney bean と呼ばれる豆があり、腎臓にいいらしいです。ほんとかないと思いました。



～Sudbury～

私が暮らしている Sudbury という町について紹介します。

Sudbury は右に赤印で示した Ontario 州にある人口 160,000 人、大小 300 の湖を有する中くらいの町です。着いてしばらくは東京の蒸し暑さに慣れていたせいとても寒かったです。今は最高気温が 20 度前後（朝と夜は肌寒いです）と過ごしやすいですが冬になるとマイナス 30 度に到達することもあるそうです。怖いです。天気はコロコロと変わり、普段



は結構晴れていますが、突然雨が降ったりします。シスターが Sudbury Weather だと言っていました。Sudbury はもともと鉱山都市として発達した地域で、コイン製造に貢献してきた歴史があります。特にニッケルが有名で mining（採鉱）について学べるミュージアムのそばにはビッグニッケルというモニュメントがあります。ホストファミリーに連れて行ってもらいました。カナダは西部を除いて全体的に平坦で、トロントからのバスでは空の広さに驚きましたが、Sudbury 近辺の highway ではたくさんの岩が見えます。ところで Sudbury の酸性の土壌はブルーベリーの栽培に適しているらしく、ブルーベリーがお手頃を買えるそうです。たくさん食べました。日本では結構高いですよ。そして、カナダ人のアイスホッケー愛はものすごく、Sudbury の方々も例外ではありません。Sudbury には Wolves というチームがあり、多くの方が Wolves のグッズを身につけています。私は Enya と一緒に試合を観に行きました。Sudbury の人々（子どもも大人も）にとって欠かせない娯楽、コミュニケーションの場なのかなと感じました。



左上) mining のミュージアムで underground tour に参加しました。説明は半分以上聞きとれませんでした。
真ん中) Big Nickel
右上) ホッケーの試合、最終ラウンドまで同点で Sudbury はアディショナルタイムで負けてしまいました。
左下) Sudbury 最大の湖 Ramsy Lake

～Cross Country～

学校で Cross Country Club に参加しています。Cross Country とは山道を走るスポーツです。週に一回のペースで大会があります。大会の日は最終の授業を早退して、バスで会場に行きます。学校から 40 分で山らしい山に行けるのはさすが countryside です。今の季節はちょうど maple の葉に色がつき始めていて、日が差すと穏やかで暖かな景色となりますのですが、正直、坂がきつすぎてそれどころではありません。でも、走り終わった後に仲間 Good job! と言ってもらえるのは気持ちがいいです。他学年の友達を作る機会にもなります。大会の後はホストマザーに車で迎えに来てもらうか、チームメイトの親御さんの車に乗せてもらって家に帰ります。電車という選択肢は存在しません。パブリックバスは一応ありますが間隔が長いのと遠回りだったりするのであまり好きではありません。私は歩くのが好きなのでこちらに来て随分散歩、たまにランニングもしています。朝、放課後ともに黄色のスクールバスがありますが、練習がある日や気分によって学校から家まで 40 分くらい歩いて帰ることも多いです。



上) Cross Country の仲間たち
右) Harry のお散歩の定番コース

～振り返り～

学校が始まるまでは特にすることもなく日本から持ってきた数学がえらく進みましたが、気づけば1か月が経ったようです。基本的な会話は大体理解できるのですが、聞き取れないこともあります。以前バスに乗るためにゲームセンターのカウンターで両替を試みたのですが、うまくやり取りができずなぜかメダルを買ってしまいました。しょうがないか、と諦めて Enya に事情を話すと彼女が引き下がる必要はない、とお店の人と話して返金、両替してくれました。自分の英語力、自立度の低さに不甲斐なさを感じた出来事でした。他にもわからないことはたくさんあり、友達やホストファミリーにいつも助けてもらっています。恵まれた環境だと彼らに感謝すると同時に、自分も Give and Take の Give をできるようになりたいと感じる日々です。10月は学校の校外学習、トロントへの旅行、ハロウィン（ハロウィンのコスチューム決めた？みたいな会話がもう普通にされるし、ご近所のお家はすでにデコレーションされています）などなどイベントが盛りだくさんで楽しみです。新しい習い事も始められたらな、と思っています。小石川生の皆さんは行事週間が終わり、勉強が忙しくなってくる頃でしょうか。留学日より、意外と時間がかかるのだと感じていますが、いつかこちらの学校生活についても詳しく書こうと思います。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

17期 森田



上二つ) 家からの景色、右のように朝は結構な確率で foggy です
下) Falcon Bridge というダウンタウンにある橋からの夕日